



麻疹が流行しています！ ～都内の小学校では学級閉鎖も～

麻疹の患者さんが増えてきています。4月22日時点での全国の累積患者数は400人に迫り、すでに昨年1年間の発生数を上回っている状況です。都内の小学校では麻疹による学級閉鎖の報告もありました。都道府県別発生数では東京都が153人で最も多く、その他神奈川、愛知など大都会に集中していますが、今後、愛媛県にも感染が拡大する可能性は否めません。

麻疹は感染力が非常に強く、肺炎や脳炎などの合併症が高率に起こり、死に至ることもある怖い病気です。発症を確実に予防するには2回ワクチン接種が不可欠です。麻疹ワクチンの定期接種が標準で2回接種になったのは2000年4月以降です。それ以前に生まれた人は麻疹ワクチンの接種が1回のみもしくは未接種の可能性があります。母子手帳で接種歴を確認して、2回の接種が完了していない方は必ず追加接種をするようお願いします。

接種歴が不明の人は、早急に麻疹ワクチンを1回接種するか、医療機関を受診して抗体検査を受けて免疫があるかどうかを確認してから接種を検討するようにしてください。

妊婦さんへのRSVワクチンの定期接種開始！

今治市では、2026年4月から妊婦さんを対象としたRSウイルスの母子免疫ワクチンの定期接種(公費負担)が始まりました。

対象は今治市に住民票があり、妊娠28週0日～36週6日までの妊婦さんです。公費負担で全額無料です。

ワクチンの効果としては、生後6か月のお子さんの約50%で発症予防効果があり、70%で重症化予防が期待できるとされています。

ワクチンの安全性については、接種部位の痛みなどの局所反応以外、重大な副反応の報告はありません。



4月の感染症情報

4月に入りインフルエンザは激減し、ほぼ終息したものと思われます。

インフルエンザに代わってRSV感染症が急増しました。0～2歳のお子さんは要注意です。その他、感染性胃腸炎、ヒトメタニューモウイルス感染症、溶連菌感染症の発生がありました。



4月の利用状況

4月の利用延べ人数は128人、1日平均利用人数は6.1人でした。年齢別では、1歳児が44人で最も多く、疾患別では、RSV感染症が50人、次いで急性上気道炎30人、ヒトメタニューモウイルス感染症の12人の順でした。

RSV感染症は、近年では毎年例外なく春から夏にかけて流行し、一定数のお子さんが重症化して入院されています。妊婦さんへのRSV母子免疫ワクチンが4月から始まりました。ぜひ接種をご検討ください。